

BRAVE CUP組手部門 競技規約

平成30年1月現在

試合時間

準決勝戦まで(三審制)				決勝戦(ルーキー・三審制、チャンピオン・五審制)			
	本戦	延長	再延長		本戦	延長	再延長
幼年・小学生 ・中学生	ルーキー:1分 チャンピオン:1分 半	1分 (マスト)	/	幼年・小学生 ・中学生	ルーキー:1分 チャンピオン:1分 半	1分	チャンピオンのみ 1分 (マスト)
高校生・ 一般色帯	2分	2分 (マスト)	/	高校生・ 一般色帯	2分	2分	1分 (マスト)
一般Adv.	2分	2分	2分 グローブマッチ (マスト)	一般Adv.	2分	2分	2分 グローブマッチ (マスト)
女性色帯	2分	1分	/	女性色帯	2分	1分 (マスト)	/
女性Adv.	2分	2分 (マスト)	/	女性Adv.	2分	2分	1分 (マスト)

※一般Aクラス以外全クラスの延長戦以降はポイント先取りのウイニングポイントルールとする。
 ※準決勝戦までの延長戦、決勝戦の再延長戦はどちらかに旗の上がるマストシステムで勝敗が付きます。

勝敗(高校生・一般・女性)

一本	①対戦相手が一時的に戦意を喪失するかダウンをして5秒以内に構えを作れない場合。 ②対戦相手から技有りを2回奪う。 ④主審・医師が対戦相手に対し試合続行不可能と判断した場合。
技あり	①対戦相手が一時的に戦意を喪失し、ダウンをして5秒以内に構えを作った場合。 ②対戦相手の上段にクリーンヒットした足技による打撃。 ③前蹴りにより転倒した相手にタイミングよく残心をとった場合。 ④顔面ありグローブ戦で顔面に突きがクリーンヒットした場合。 ※技有りは2本で一本勝ちとなる
判定	一本勝ち、またはドクターストップで決まらない場合、審判団の採点により決まる。
反則	①反則の項目参照。反則による減点が2となった場合は反則負けとなる。 ※危険行為は注意2→減点1 注意3→失格 掴み注意3→減点1 減点は合算する。

勝敗(ジュニアクラス・幼、小・中学生)

一本	①対戦相手が一時的に戦意を喪失するかダウンをして3秒以内に構えを作れない場合。 ②対戦相手から技有りを2回奪う。 ④主審・医師が対戦相手に対し試合続行不可能と判断した場合。
技あり	①対戦相手が一時的に戦意を喪失し、ダウンをして3秒以内に構えを作った場合。 ②対戦相手の上段にクリーンヒットした足技による打撃。 ③前蹴りにより転倒した相手にタイミングよく残心をとった場合。 ※技有りは2本で一本勝ちとなる
判定	一本勝ち、またはドクターストップで決まらない場合、審判団の採点により決まる。
反則	①反則の項目参照。反則による減点が2となった場合は反則負けとなる。 ※危険行為は注意2→減点1 注意3→失格 掴み注意3→減点1 減点は合算する。

※審判は選手の安全を第一に考えています。危険と判断した場合には試合を中断する場合があります。

判定基準の優先順位

一本 > 技あり > ダメージ > 的確な攻撃 = 減点 > 主導権 > 積極性

優 ←

→ 劣

※上段への足技による技ありは全クラス有効。上段を意識し、距離をとる組手を意識して戦ってください。

判定の審議

- ①競技判定において審議を必要とする場合の最終決定権は大会審判長にある。
 判定→コート監査による審議→再判定 監査で解決出来ない場合→大会審判長による審議→再判定
 ②審議内容については監査・審判が説明。決定にはいかなるクレームも受け付けない。
 ③偶発的な事故により医師が続行不可能と判断した場合、大会審判長と審議委員により判定を決定。

反則

A 危険行為	①手技(肩から手先)での顔面(首から上)への攻撃 ②頭突き ③上段膝蹴り(一般Aを除く) ④金的・下腹部(腸蹴りを除く)への攻撃 ⑤倒れた相手への攻撃 ⑥背後からの攻撃(裁いた後の流れによっては認める) ⑦主審の「やめ」の後での攻撃 ⑧膝関節への攻撃
B 掴み・押し	①相手を掴み続ける(袖の部分・首より上部において片手一瞬(ワンアタックまで)認める) ②相手を投げる事(ダメージを与える投げを仕掛けた場合は減点1) ③相手の腕を押さえる事 ④胸をつけての攻撃 ⑤頭をつけての攻撃(強く当たる場合は頭突きとみなす) ⑥拳・掌底で相手を押し続ける事 ⑦脇差しで相手の動きを封じる事
C その他	①故意に場外へ逃げる事(3回→注意1 4回→減点1 5回→失格) ②主審の指示に従わない(悪質な場合は失格) ③技のかけ逃げ ④審判が認めない反則のアピール ⑤試合を中断するような道衣の着方をしている場合(指示に従わない場合は減点1) ⑤対戦相手・審判への暴言(セコンド・所属道場関係者も含む) ⑥規定に満たない防具を装着してコートに入場した場合(コート内で発覚→減点1) ⑦手足の爪が長く競技に支障をきたすと審判が判断した場合(コート内で発覚→減点1)

※注意は判定にポイントとして影響はしない。
 ※防具についての注意事項は別紙参照

防具規定

○は必須 △は任意

	幼年(男女)	小・中学生男子	小・中学生女子	高校性男子	一般男性色帯	一般Advanced	女性
ファウルカップ	○男	○	×	○	○	○	×
アンダーガード	△女	×	○(高学年以上)	×	×	×	○
インナーチェスト	△	△	△	△	×	×	△
ヘッドガード	主催者用意	主催者用意	主催者用意	×	×	×	主催者用意
スポーツブラ	×	×	○4年生以上	×	×	×	○
拳サポーター	○	○小学生	○小学生	×	×	×	×
パンチンググローブ	×	主催者用意 中学生	主催者用意 中学生	主催者用意	主催者用意	×	主催者用意
スネサポーター	○	○	○	○	○	×	○
ヒザサポーター	△	○	○	○	○	○	○
マウスピース	△	△	△	△	△	○(再延長時)	△

- ※インナーチェストは任意です。貸出あり。
 ※小学4年生以上の女子はスポーツブラ(パッドが硬質なものは禁止)を必ず着用すること。インナーチェストは貸出あり。
 ※ヘッドガードは主催者用意。ただし、正道会館指定の物は個人の物を使用可。
 ※高校生・一般、女性も上段ポイント制ですのでマウスピース着用をお勧めします。
 ※一つでも揃わない場合、規定に満たないもの(別紙参照)を着用している場合は試合に出ることはできません。

失格

- ①試合中、審判員の指示に従わなかった場合。
 ②出場時刻に遅れた場合。(自分の試合の3試合前にはコートに待機しておく事。呼び出しはしない)
 ③見合ったまま状態で30秒経過した時。この場合は、双方失格となる。
 ④選手・セコンド・所属道場関係者による粗暴な振る舞いがあった場合。
 ⑤各階級の規定体重をオーバーした場合(各階級2kg未満は減点1。2kg以上オーバーは失格)
 ⑥減点を2回重ねた場合。(危険行為の減点は3回目の注意で失格となる)
 ⑦規定外の道衣でコートに入場した場合(別紙服装規定参照)
 ⑧反則行為により対戦相手が試合続行不可能となった場合。

規定に記載されていない問題が起きた場合は、大会審判長と審議委員の協議により処理をする。

クラス別課題型

幼年・小学生	幼年・小学生	中学・高校生	中学・高校生	中学・高校生	一般	一般	年齢不問
太極一の部	平安二の部	平安二の部	平安五の部	撃砕小の部	平安五の部	撃砕小の部	自由型の部

※参加人数によりクラスの廃止・合併があります

- ①型の流派は問いません
- ②自由型はどんな型でも構いません。(あらゆる伝統型、創作型、武器術など)
- ③型の複数クラスのエントリーはできません。
- ④各流派規定の道着を着用し行う事。改造した道着着用は認めない。女性のみTシャツの着用可。
- ⑤競技場に2名が上がり、審判の号令により同時に競技を開始し、終了後判定を取る。
- ⑥型は主審の号令により「正面に礼、互いに礼」の順に行い、正面を向き『はじめ』の号令で開始する。
- ⑦主審の号令後の型への入り方は各自自由とする。型終了後は自分でなおり両選手終了の後、主審の号令で判定に入る
- ⑧判定は審判の判断により、どちらかに旗が上がります。
- ⑨判定後は主審の号令(正面に礼、互いに礼、握手)後速やかに退場する。
- ⑩判定に対するいかなる異議申し立ては受け付けません。

規定に記載されていない問題が起きた場合は、大会審判長と審議委員の協議により処理をする。